

解答

■問題 1

$$7 \times 9 (9 \times 7)$$

九九の答えのうち一の位が3なのは、3と63だけです。

ア：63 ……(答え)

よって、②に入るのは63の十の位である6です。

イ：6 ……(答え)

①にあてはまるのは、 $13 - 6 = 7$  です。

ウ：7 ……(答え)

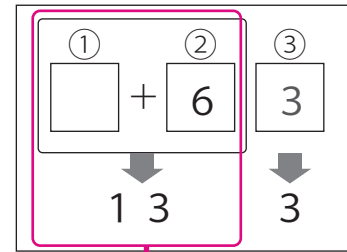


図7

積が133になる2けたのほうを「1●」とおくと、図8より、

$$\bullet \times 7 = 63 \quad \text{となるので}$$

$$\bullet = 63 \div 7 = 9$$

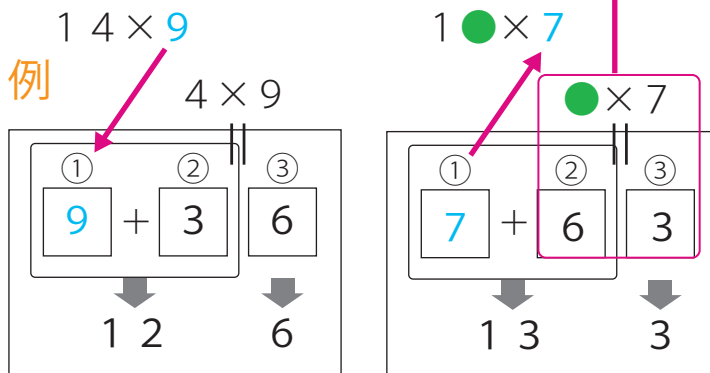


図8

こうやって、例と並べて  
比べるとわかりやすいよ！



よって、積が133になる2つの数は、2けたのほうは19、1けたのほうは7とわかります。

エ：19 ……(答え)

オ：7

■問題2

なおこさんの発言「そうか。図6の長方形「あ」、「い」、「う」の中の1つを動かして、面積を考えればいいのですね。」と「長方形の面積の和は $210+24=234$  で $234\text{cm}^2$ となるのですね。」がヒントになっています。

24 →  $8 \times 3$  → 「い」の面積  
→ 「い」の面積は動かさない

長方形を1つ動かし、長方形の面積の和は  $210+24=234$  と計算していることから、

長方形「う」を移動させて考えると、長方形「あ」と「う」が

合体したことで、長い方の辺は、

$13+8=21(\text{cm})$  になり、

$21(\text{cm}) \times 10(\text{cm})$  の大きな長方形(図9の黄色の面積)と

$3(\text{cm}) \times 8(\text{cm})$  の長方形「い」で、2つの長方形の

面積の和と考えることができます。

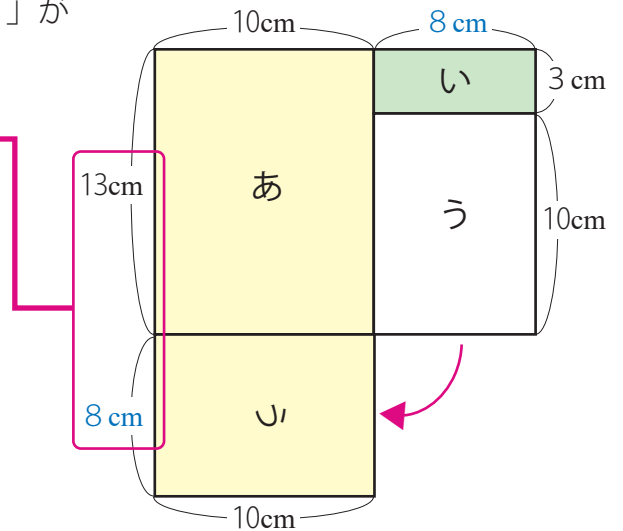


図9

よって、以上をまとめて、

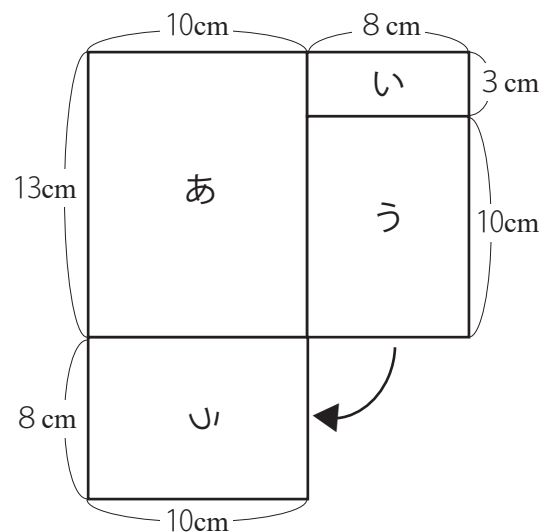
「カ」の解答例は次のようになります。

図のように長方形「う」を動かすと、「あ」と「う」を

合わせた長方形のたての長さが $13+8=21(\text{cm})$ で、

横の長さが $10\text{cm}$ なので、面積は $21 \times 10 = 210$  で $210\text{cm}^2$

となり、「う」の面積は $3 \times 8 = 24$  で、 $24\text{cm}^2$  となる



文末の表記は「から」に続くように注意しようね!



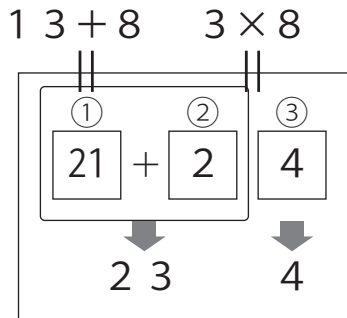
■問題3

十の位が1である2つの2けたの数を1▲, 1■と表します。(▲, ■は1けたの整数)

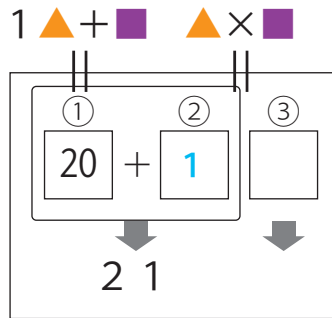
①が20であることから,  $1▲ + 1■ = 20$ ,

②より,  $▲ \times ■$ を計算した結果の十の位は1となります。(図10参照)

例  $13 \times 18$



$1▲ \times 1■$



こうやって, 例と並べて  
比べるとわかりやすいよ!



図10

これにあてはまる▲, ■の組み合わせを考えると(▲, ■) = (2, 8), (8, 2) のみで,

いずれの場合も  $▲ \times ■ = 16$  になります。

よって, ③にあてはまるのは,  $▲ \times ■$ を計算した結果の一の位になるので, 6とわかります。

キ: 6 ……(答え)

$1▲ + 1■ = 20$  になる組み合わせは

▲	■
1	9
2	8
3	7
4	6
5	5
6	4
7	3
8	2
9	1

この中で,  $▲ \times ■ = 1□$  より,

$▲ \times ■$  の十の位が1になるのは, (▲, ■) = (2, 8), (8, 2) のみ